

疾患プロテオゲノム研究センター特別講演会

塩見 春彦 博士

慶應義塾大学医学部分子生物学教授

トランスポゾンとRNA サイレンシング

塩見 美喜子 博士

東京大学大学院理学系研究科生物化学教授

piRNA生合成機構の 分子メカニズム

2012年12月21日 金曜日

16:00 - 18:00

疾患プロテオゲノム研究センター
1F 交流ホール

塩見春彦教授と塩見美喜子教授は、RNAサイレンシングとよばれる遺伝子発現制御機構の研究を牽引する国際的リーダーです。本センター出身者のなかで最も気を吐く学者ともいえます。この度、ご来学いただく機会を得ましたので、特別講演をお願いいたしました。多数のご来聴をお待ちしております。

Nature. 2012 Nov 8;491(7423):284-7.

Mol Cell. 2010 May 14;38(3):323-32.

Nature. 2008 Jun 5;453(7196):793-7.

Cell. 2011 Jun 24;145(7):1005-7.

Nature. 2009 Oct 29;461(7268):1296-9.

Science. 2007 Mar 16;315(5818):1587-90.

問合せ先: 疾患プロテオゲノム研究センター生命システム形成分野/大学院医科学教育部免疫系発生学
高浜洋介 (x9452, takahama@genome.tokushima-u.ac.jp)